

# 明日香・聖徳通信

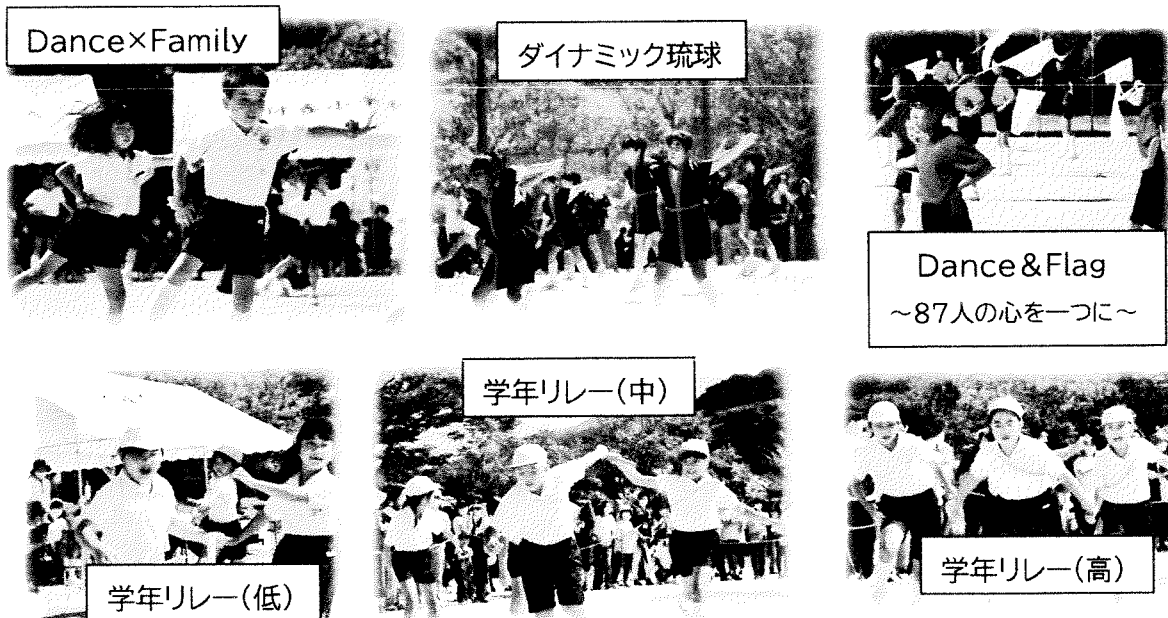
令和4年10月14日発行 校長 角田 哲典 第6号

6才で歌舞伎の初舞台を踏み、92才で亡くなった歌舞伎役者の市川歌右衛門さんは、生前、「自分が歌舞伎の修業時代、師匠から芸を手にとって教えてもらうことはできなかったものだ。見て覚える、まねるといふことの連続だった。芸がなくてはやっぱり伸びない。一つの芸を身につけるにはよい芸を盗まなきゃいかん。」そして、「芸を高めようとする欲が大事である。」と言っておられました。このことは、学校生活にも相通じる気がします。児童生徒の様々な活動の中で、上級生が下級生によい「範(はん)」を示し、その「所作(しよさ)」や取り組み方を「みて まねて 盗んで」を受け継ぎながら、伝統や校風が築かれていると思うからです。

先日実施された体育大会・体育祭でもその一コマを垣間見ました。先輩が築いてきた成果を後輩が受け継ぎ、懸命に努力しているエネルギーな姿、コロナ禍における「新しいかたち」を自分たちの力で築いていこうとする姿がありました。児童生徒の「高い志」と教職員の「熱い思い」と保護者の皆様の「温かい見守り」のおかげで無事終了することができました。

また、保護者のみなさまには観覧の際に数々の制約を設けましたが、ご理解とご協力のおかげでスムーズに体育大会や体育祭を実施することができました。テントの設営や撤収等にご協力いただきましたこと重ねて御礼申し上げます。

小学校 体育大会  
 体育大会・体育祭アラカルト  
 テーマ 「自分らしさ! 笑顔!! パワー」



中学校 体育祭

テーマ 百花繚乱~聖徳の笑利の華よ 咲き誇れ~



## 明日香村幼小中一貫教育 第3回実践発表会について 11月18日(金)

明日香村における幼小中一貫教育は、今年で11年目になります。その間、明日香の取組の実践発表を過去2回行っており、今年も、3回目となる実践発表会を行います。この発表会には、県内外の教職員が参加されます。

今回のテーマは「“明日香の視点”を活かした「主体的・対話的で深い学びの授業づくり」です。これまで、『幼稚園から中学校までの12年間をつなぐ「主体的・対話的で深い学び」の授業はどうあるべきか』を“明日香の視点”に位置づけて授業作りに取り組みました。この“明日香の視点”を手がかりに、校種を超えて幼稚園、小学校、中学校の全職員が共に協議し実践に取り組みました。

今回の実践発表会では、幼稚園から中学校までの全学年で、“明日香の視点”を生かした保育・授業を公開する予定です。

## 音楽参観(小学校)及び聖中祭(中学校)について

例年11月の第1土曜日に幼小中交流音楽会を開催していましたが、コロナウイルス感染症拡大防止のため、ここ数年中止となっています。もちろん、音楽の授業で歌を歌ったり合奏をしたりと音楽活動を行っています。保護者のみなさまに音楽会として参観いただく機会が持つことができませんでした。今年も先日の案内の通り「幼小中交流音楽会」を中止としましたが、その代案として小中別々で[音楽発表]の場を設けました。

○小学校 音楽参観(11月2日)別紙プリント参照(配布済み)

○中学校 聖中祭(10月28日)別紙プリント参照(配布済み)

※プログラム午後の部で学年合唱の発表を行います